

各 位

会社名 株式会社ネットプライスドットコム
代表者名 代表取締役社長 兼 グループ CEO 佐藤 輝英
(コード番号 3328 東証マザーズ)
問合せ先 代表取締役副社長 兼グループ CFO 中村 浩二
電 話 03-5739-3350

固定資産の減損損失（連結）及び関係会社株式評価損（個別）と
平成24年9月期通期（連結）業績予想値と実績値との差異並びに
個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

平成24年9月期連結決算において、Eコマース事業のギャザリング部門において固定資産の減損損失を特別損失として計上し、平成24年9月期個別決算において、関係会社株式評価損を特別損失として計上することとなりました。

また、これらに関連して、平成24年7月25日に公表いたしました平成24年9月期（平成23年10月1日～平成24年9月30日）の通期連結業績予想値と本日公表の実績値並びに通期個別業績値と前期実績値について、差異が生じたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 固定資産の減損損失（連結）について

Eコマース事業のギャザリング部門において保有する以下の固定資産について、直近の業績推移等を勘案し、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能額まで減額すべきであると判断し、減損損失として特別損失に計上いたしました。

- | | |
|-----------|----------------------------|
| (1) 資産の内容 | 工具、器具及び備品、ソフトウェア、ソフトウェア仮勘定 |
| (2) 減損金額 | 125百万円 |

2. 関係会社株式評価損（個別）について

Eコマース事業に属する連結子会社である株式会社ネットプライスは、これまで蓄積した利益剰余金を当社グループの他事業へも再配分することを目的に、当社に対して675百万円の配当金を実施いたしました。その結果、同社の純資産額が同額減少し、帳簿価格を50%超下回ることとなったため、以下のとおり、関係会社株式評価損を特別損失に計上いたしました。

なお、関係会社株式評価損につきましては、連結上は消去されるため、連結決算における影響はありません。

平成24年9月期（個別）における関係会社株式評価損 1,504百万円

3. 平成24年9月期 連結業績予想数値と実績値との差異（平成23年10月1日～平成24年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当り 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,000	百万円 △200	百万円 △140	百万円 △250	円 銭 △2,247.86
今回実績値(B)	9,949	△310	△130	△351	△3,161.56
増減額(B-A)	△50	△110	9	△101	—
増減率(%)	△0.5	—	—	—	—

4. 平成24年9月期 個別業績と前期実績値との差異（平成23年10月1日～平成24年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当り 当期純利益
前期実績(A) 平成23年9月期	百万円 541	百万円 65	百万円 32	百万円 176	円 銭 1,592.40
当期実績(B) 平成24年9月期	1,100	509	707	△856	△7,705.27
増減額(B-A)	558	443	674	△1,033	—
増減率(%)	103.0	674.4	2055.3	—	—

5. 差異の理由

（連結業績予想数値と実績値との差異）

Eコマース事業のギャザリング事業において、受注及び粗利率の回復が予想を下回ったこと、バリューサイクル事業において、販売件数は順調に増加したものの、販売単価が予想を下回ったことから売上高が伸び悩んだこと、クロスボーダー事業において、今期から開始した英国商品および来期開始予定の欧州商品取り扱いに向けての投資、また、米国における規模拡大に向けての物流拠点・機能拡張のための投資を行ったことから、営業損失が予想数値を上回りました。また当期純損失に関しましては、関係会社株式評価損を特別損失に計上したため、予想数値を上回りました。

（個別業績と前期実績値との差異）

当社は純粋持株会社であり、子会社からの配当金、業務委託費を収益として計上しております。平成24年9月期においては、2. 関係会社株式評価損（個別）について記載のとおり、子会社からの配当金の発生により、売上高、営業利益、経常利益が増加いたしました。関係会社株式評価損が発生したため、当期純損失を計上いたしました。

以上